

# 阪急沿線 ちょい駅散歩

55 駅目

## しょうじゃく

正雀  
SHOJAKU

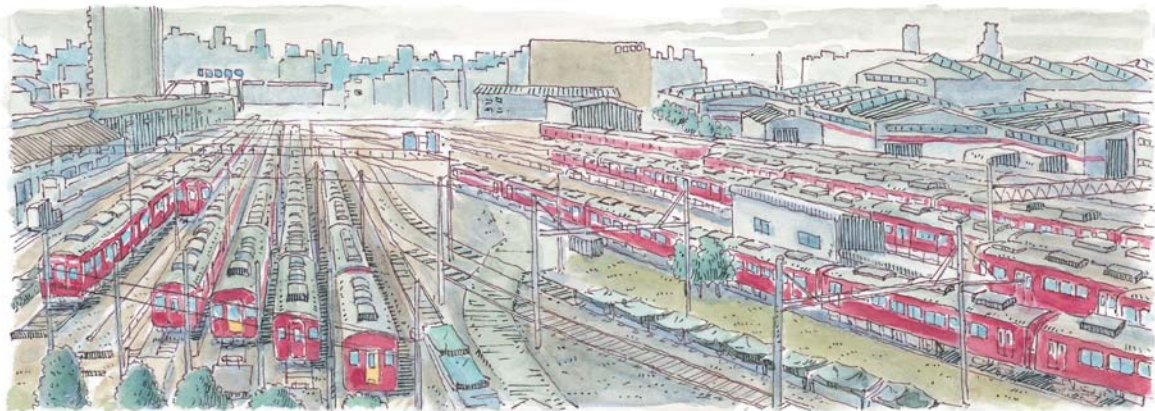
← あいかわ  
AIKAWA
せつし  
SETTSU-SHI →

摂津市と吹田市の市境をまたぐように建つ同駅の北には、阪急電鉄最大の規模を誇る正雀車庫が広がる。周辺には店舗と住宅を兼ねた小さな店が連なる商店街や、大学や高校もあって人通りが多くにぎやか。車庫と並んだ小さな街を訪ねてみよう。



**正雀駅** 所在地／摂津市阪急正雀  
設置／1928年1月16日

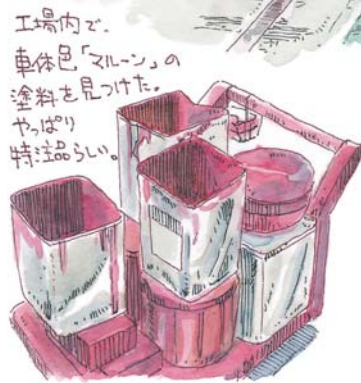
# 車庫に寄り添う街の個性店を訪ねて



4年に1度行われる  
全車重要部検査。

台車のメンテナンスや  
塗装の準備作業  
などを工場内で  
見学した。

見慣れている電車  
だけに、こういう光景  
は新鮮。



工場内で、  
車体色「マルーン」の  
塗料を見つけた。  
やっぱり  
特注らしい。

## 阪急電鉄 正雀工場・車庫 安全を支える舞台裏で見る職人技

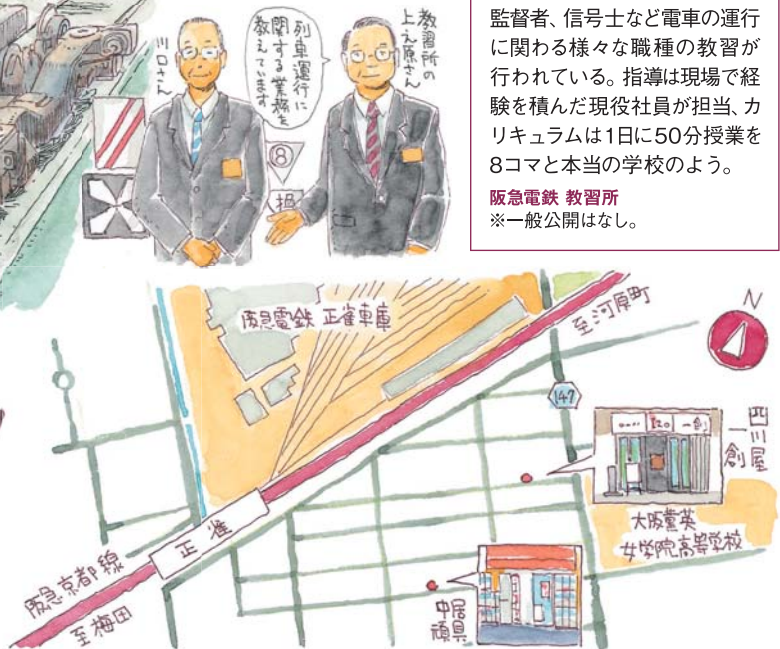
42線を備える車庫、阪急電鉄・能勢電鉄の全営業用車両の検査・修理を行う整備工場、教習所と、阪急電鉄の“心臓部”とも言える施設が集まるこの場所は、沿線に4つある拠点の中で最も規模が大きい。見学コースの中でも人気の工場内には、車両や部品などが整然と並び、想像よりも大型機械がずつと少ない印象。その訳は、整備のほとんどをスタッフの手と目で確認し、一つずつ進められているから。腕一本で電車に向かうその姿は、まさに“職人”そのものだ。

●見学には事前申し込みが必要  
(見学無料)／☎06・6373・5272  
(阪急電鉄技術部)／9:00～12:00、  
13:00～17:30、土・日曜・祝日は  
休み)

### “阪急マン”が育つ場所

車庫内にある教習所では、運転士や車掌をはじめ、助役などの監督者、信号士など電車の運行に関わる様々な職種の教習が行われている。指導は現場で経験を積んだ現役社員が担当、カリキュラムは1日に50分授業を8コマと本当の学校のような。

阪急電鉄 教習所  
※一般公開はなし。



## 中国料理 四川屋 一創 本格派のマーボー豆腐

子どもの頃から中華の料理人にあこがれていた太田さんが、横浜で8年半腕を磨き、地元関西で本格四川料理の店をオープン。トウガラシの辛さと、たっぷりの“油を食べる”と言われる四川の伝統を、サンショウ、ネギ、トウガラシ、ゴマの4種の油を使った「マーボー豆腐」980円で味わって。トウガラシの辛味の後に、サンショウの刺激とさわやかさが混ざり合う逸品だ。

●11:30～14:00L.O. 17:00～22:00  
(21:45L.O.)／火曜日休／☎06・6317・5887

イラスト／綱本武雄(株式会社地域環境計画研究所)

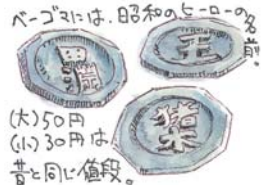


## 中居玩具

### お宝眠る?! 街のおもちゃ屋さん

わずか8坪ほどの小さな店内には、床から天井まで積み上げられたプラモデルやフィギュアがぎっしり。ここに店を構えて約40年、地元で愛されるおもちゃ屋さんでありながら、大型店で品切れになった商品や鋳物のペーゴマなど、懐かしのおもちゃが買える貴重な場所として遠方から足を運ぶ人も多いそう。ここへ来た人は、自分のお目当てを発掘するうちに1時間、2時間が過ぎていくことも少なくないとか。日常から離れた、ほんの一時、おもちゃに囲まれた夢の世界で遊んでみては。

●10:00～18:00／無休／  
☎06・6382・1928



ペーゴマは、昭和のヒーローの名前。  
(大)50円  
(小)30円は  
昔と同じ値段。